



区ホームページ



令和6年12月25日

葛飾区議会本会議場・委員会室

# 子ども区議会を開催しました

教育指導課 ☎03-5654-8471



議長に任命された、浅川すみれさん(青葉中2年)が開会宣言を行い、本会議の最後には、「『誰もが安全で快適に過ごせて、環境にも優しい葛飾区』にするための決議」が、原案のとおり全会一致で可決されました。各委員の質問項目は区公式ホームページに掲載しています。



**特集** かつしかチャレンジプログラム

詳しくは、  
4~5ページへ



# 葛飾みらい科学 研究コンクール

実験観察を通して探究し、研究成果をまとめた応募作品の中から、特別選考委員の葛飾区教育委員会 小花教育長、東京理科大学 石川学長をはじめとする選考委員により、受賞作品を決定しました。結果は次のとおりです(敬称略)。

## 小学校

### ▼教育長賞

鳥居 真幸 (住吉小6年) 「ラーメンが伸びない工夫」

令和6年度東京都小学生科学展で優秀賞を受賞しました。

### ▼東京理科大学学長賞

鳥居 みさき (住吉小2年) 「風と電車」

### ▼入賞

善養寺 莉子(道上小4年)「亀有セミ調査2024～亀有香取神社～」

原田 一颯(鎌倉小5年)「メロンはどんな飲み物が好きか」

内山 凜哉(北野小5年)「納豆とはっこうの研究」

小川 千惺(西小菅小4年)「歯と酸はどちらが強いのか?」

細田 雅尊(西亀有小3年)「ダンゴムシ曲がり方研究」

浅香 柚季(細田小2年)「食べ物の3秒ルールは安全なの?」

木村 葵(東金町小6年)「ミジンコは水を透明にするのか」

榊原 千咲(保田しおさい学校3年)「メダカが卵を産むのに大切なことは何?」

## 中学校

### ▼教育長賞

鳥居 幸永(桜道中3年)「東京都立水元公園に生息するコハンミョウの生態に関する研究」

### ▼東京理科大学学長賞

佐藤 友唯(綾瀬中2年)「建物の揺れ方を模型で調べる実験」

### ▼入賞

石口 凜(常盤中2年)「ペンのインクのいろいろな実験による変化のちがい」

井上 芹菜(常盤中2年)「お茶の泡について」

坂口 美佑(新小岩中1年)「水温変化が金魚の活動に与える影響」

応募数: 小学校91点、中学校18点

教育指導課 ☎03-5654-8471

## ABC 中学校英語スピーチ&プレイコンテスト

教育指導課 ☎03-5654-8471

令和6年10月7日、第39回葛飾区立中学校英語スピーチ&プレイコンテストを実施しました。結果は次のとおりです(敬称略)。

スピーチの部 (出場: 24人) ※奨励賞はスピーチ順に記載				
第1位	堀切中	3年	米澤 綾乃	Practice makes perfect
第2位	本田中	3年	有馬 悠人	My Favorite Sport, JUDO
第3位	金町中	3年	今井 科學	First Contact
奨励賞	青戸中	3年	李 宗妍	Respect Each Other
奨励賞	一之台中	3年	宮尾 あかり	ENGLISH
奨励賞	立石中	3年	吉村 友那	How do I live ?
レシテーション(英文暗唱)の部(出場: 2人) ※発表順に記載				
奨励賞	本田中	2年	大橋 茉夕	For the Future: Our Global Partnership
奨励賞	新小岩中	2年	湯 曜同	The Little Prince



左から今井さん、米澤さん、有馬さん

## 葛飾区読書感想文コンクールを実施しました

教育指導課 ☎03-5654-8471

小学生13,846点、中学生4,533点の応募があり、次の方の作品が入賞しました。各部門の最優秀賞・優秀賞・佳作入賞者は次のとおりです(敬称略)。

### 小学校低学年の部

#### 最優秀賞

渡辺 陽日(上小松小1年)

#### 優秀賞

相川 小春(堀切小1年)

柳澤 健吾(二上小2年)

#### 佳作

梶田 陸仁(葛飾小2年)

渡邊 智匡(上小松小2年)

澤野 恵美莉(東金町小1年)

### 小学校中学年の部

#### 最優秀賞

堀 ののは(宝木塚小4年)

#### 優秀賞

合沢 博人(中之台小3年)

廣木 恵大(東金町小4年)

#### 佳作

伊藤 ゆり(中之台小4年)

大瀧 すず(北野小3年)

大和 優聖(東柴又小3年)

### 小学校高学年の部

#### 最優秀賞

高橋 暖(梅田小5年)

#### 優秀賞

阿久津 佑月(新宿小5年)

佐藤 有希(中青戸小6年)

#### 佳作

豊田 要(上千葉小6年)

平田 結子(西亀有小6年)

日野 一翔(花の木小5年)

### 中学校の部

#### 最優秀賞

横田 明憲(金町中3年)

#### 優秀賞

奥村 心(金町中2年)

杉浦 侑芽(桜道中2年)

名田 琴実(大道中2年)

下田 真愛(亀有中2年)

#### 佳作

片山 葵陽(水元中2年)

片波 枇由(奥戸中3年)

浅野 結衣(一之台中3年)

伊良皆 璃音(新小岩中3年)

渡邊 彩心(新小岩中2年)



東京都小学校読書感想文コンクールにおいて、二上小学校 柳澤健吾さんが、特選を受賞し、中之台小学校 合沢博人さんと伊藤ゆりさんが入選しました。柳澤健吾さんは都代表として青少年読書感想文全国コンクールに出選されました。

## ライ麦畑の崖っぷち

金町中学校 三年 横田 明憲

書名「キャッチャー・イン・ザ・ライ」  
著者「J.D.サリンジャー」  
訳「村上春樹」

大人にとって健全な若者なんて、僕は居ないと思ってる。もし居たとしても、きつと数えるくらいだ。僕は昔から、大人に苦手意識を抱いてきた。反抗したいとかそういうのではなく。言うことは嘘くさく見えて、いつもなんとなく偽善だとも思ってしまう。芸能人の巨額の募金も、エリートコースを歩んでタワマンに住む人生のことも、いちいち卑屈な目で見てしまう。ただ一つわかってほしいのは、僕含め健全な若者たちはいつだって、「ライ麦畑でつかまえて」もらうのを待っているところだ。

僕はこの本を一人暮らしへの引越越しのために荷物を整理していた姉から貰った。真っ白な表紙に紫の字でタイトルが書かれている。「キャッチャー・イン・ザ・ライ」。別訳版の「ライ麦畑でつかまえて」とうタイトルの方がポピュラーかもしれない。この変なタイトルの意味が、そのときはわかるわけもなかった。

話は、十六歳の主人公ホールデンが

寄宿学校を退学させられるところからはじまる。家に帰ることもなくニューヨークの街をほつき歩くホールデンが大人の世界に抱く失望や疎外感、不満、そして対照的な愛情や純粋さが、彼自身の口から、饒舌かつ繊細に語られる。

この本の面白さは、物語というよりも、ホールデンという若者の内面を徹底的にリアルに描いている点だと思う。ホールデンは常に作中で矛盾に満ちている。大人の見栄や欺瞞を嫌いながらも、自らも売春婦に対して見栄のために嘘をつく一面を持ち、学校の友人をからっぽの人間だと嘲りながらも、自分自身に生きる意味を見い出せないでいる。たくさんの矛盾、そして自分の理想と大人の世界との大きなギャップに、自分の居場所を見つけれずにさまよひ苦しむホールデンが葛藤する姿はあまりにもリアルで痛々しく、思春期の僕の心に強く突き刺さるものがあった。

作中、ホールデンは過激なまでに悪態をつく場面が多く見られる。正直なところ、どちらかというと僕もそういうタイプだ。老人のベルボーイに切ない人生だなんて思ったり、インチキキさい映画で泣く人に対して毒を吐く箇所なんかは、幼稚さを自認しながらも共感した。本当に心も視野も狭い人間だなと自分でも思う。ただ、自分自身の中に純粋な部分だって持ち合わせ

ていると思ってる。ホールデンだってそうだ。ホールデンの妹への愛や弟の死への大きなショックは作中でも印象的に描かれている。人は誰だって二面性を持つてはいるはずだ。僕は思春期真っ只中で、この自分の中の二面性に苦しめられてきた。僕の中の攻撃的だった排他的だったりする部分ばかりが目立って、純粋な心も持っていることを他者がわかってくれない。「良い人間でありたい」「強い人間でありたい」という思いがあるからこそ、自分の実際の人間性の醜さ、弱さが邪魔して自己が確立できない。そんな僕含め多くの若者がかかえるであろう苦しみが生々しく綴られているからこそこの本は世界中の若者たちに、「これは自分の本だ。」と思わせてきたのだろう。

ホールデンという人物の純粋さが伝わるとも印象的な場面に、こんなものがある。彼の愛する妹のフィービーに、彼はこう言う。「ライ麦畑のキャッチャー、僕はただそういうものになりたいんだ。」「ライ麦畑の崖っぷちに立ち、前を見ずに崖の方へ走ってくる子どもをさつと、キャッチする。そんな都合も社交辞令も何も関係ない純真な優しさを持った大人こそが彼自身の理想像だ。そして、それはホールデンがそんな優しさや愛に飢えていたということの裏返しでもある。このセリフは、大人の世界にもまれたホールデンが物語

の終盤に吐露した心の叫びに見える。この優しくて切ないタイトル回収に僕は衝撃を覚えた。

私の父はこの作品のことを「大人になつて読むと恥ずかしくなる小説」と言った。きつとその通りなんだと思う。僕にもこんな今だけの感情や考え方を恥ずかしいと思う日が来るのだらう。しかしそういうことを「成長」と呼ぶのだと思う。そうやって何かを失って、何かを手に入れるのが「人生」なのかもしれない。一方で、それは結構寂しいような気もする。今考えると姉がこの本をわたされたのは、「卒業」を意味しているようにも考えられる。(実際深い意味なんて全くないのだけれど。)

最後に、彼の恩師であるアントリーニ先生による詩の引用をここにも記したいと思う。「未成熟なるものしるしとは、大義のために高貴な死を求めることだ。その一方で、成熟したもののしるしとは、大義のために卑しく生きることを求めることだ」

僕の未来もホールデンの未来も想像はつかないけれど、この本に共鳴できたおかげで、少し肩が軽くなった気がした。

(原文ママ)



みんなの得意分野を伸ばそう!

# かつしかチャレンジプログラム

令和6年度から学習や能力向上への意欲が高い区立小・中学校の児童・生徒を対象に、能力をさらに向上させるための事業「かつしかチャレンジプログラム」を始めました。「English Challenge コース」「プログラミングコース」「自然科学コース」を実施し、思考力やコミュニケーション能力等のさらなる育成を図っています。

教育指導課 ☎03-5654-8471

## English Challenge コース

対象：中学生

日本人講師と外国人講師が英語検定対策講座やレッスンを行い、英語によるコミュニケーション能力向上や、英語検定準2級以上の取得を目指しました。



このようなことに取り組みました!

レッスン

ショッピング、レストラン、電話対応、道案内などの日常生活で想定される場面での英語によるやりとりを練習しました。

英検対策講座

生徒一人一人の学習内容に合わせて、テキストや補足資料を活用して、文法など幅広く学びました。さらに英語検定2次試験における面接対策として、入室時の挨拶から退室まで、試験内容に則ったシミュレーションを織り込み、検定対策を行いました。



参加した人の感想

1つ1つの問題を詳しく解説してくれて良かったです。問題の解説だけではなく、勉強法などを教えてくれて身に付きました。来年度も参加したいです。

外国人講師と少人数で、ゲームなどを通して話をするのができて良かったです。この講座のおかげで、準2級に合格しました。ありがとうございました。



令和7年度も、かつしかチャレンジプログラムを実施する予定です。

実施するコースや申し込み方法は後日お知らせします。

皆さんの積極的な参加をお待ちしています!

## プログラミングコース

対象：小学6年生、中学生

児童・生徒の情報活用能力の育成やプログラミングで課題解決する力を培うことを目指して開設しました。



このようなことに取り組みました!

小学校

「身の周りの人に喜んでもらえること」をテーマに、5年生で学んだロボット型のプログラミング教材を活用し、講座を通じて各々が試行錯誤しながら工夫して作品を制作し、最終回ではプレゼンテーションを行いました。

児童が考えた作品テーマの例

音楽をリピートするプログラム、天気で動きを変えるロボットなど

中学校

「ITものづくり(Webサイト制作)を通じた身の周りの問題解決」をテーマに、プログラム言語で Webサイトを作成する教材を活用して、各々が身の周りの問題を考え、その問題を解決するためのWebサイトを作成しました。

生徒が考えた作品テーマの例

出生率の向上、環境ゴミ問題、定期テスト対策、飲食店の集客など



参加した人の感想

授業を超えた内容を学べて、お友達とともに色々なアイデアを出し合えて楽しかったです。(小学生)

最初はプログラミングが嫌いだったけれど、親の勧めで参加してみたら、とても奥が深く楽しくて、プログラミングのことが好きになりました!(中学生)

## 自然科学コース

対象：小学6年生、中学2年生

東京理科大学葛飾キャンパスにある科学教育センター「未来わくわく館」で、実験・観察・研究を行いました。



このようなことに取り組みました!

小学校

「海の『ちりめんモンスター』を探そう」など、身近なテーマの観察や「簡単なモーター作り、仕組みを調べよう」のような実験について、一人一人が取り組んでいます。

中学校

「研究組」と「実験組」に分かれて実施しています。実験組は、「簡易カメラの制作」「飛ぶタネの科学」「豆腐作り」等、各回テーマに基づき、高度な科学実験を行うとともに、結果を基に考察する機会も設けています。

研究組は、グループで考えたテーマを基に実験観察を行い、結果から考察を行うとともに、研究報告にまとめ、口頭発表を行うことで探求力を向上させています。

今年度の研究テーマは、「植物色素を使った指示薬の研究」「燃料電池の研究」「アリの種類の調査から環境の違いを調べる」でした。毎年、研究組の代表が、東京都中学校生徒理科発表会に参加しています。



# 「葛飾区少年の主張大会」が開催されました

令和6年11月16日、かつしかシンフォニーヒルズ・アイリスホールにおいて、応募総数341人の中から選ばれた小学生19人、中学生8人、計27人がそれぞれの主張を発表しました。結果は次のとおりです(敬称略)。

地域教育課 ☎03-5654-8482



司会は昨年度中学生の部最優秀賞の田村優奏さん

## 小学生の部

### 最優秀賞

山口 珠生 (北野小6年)  
「『弱さ』は『個性』」

国本 世乃 (よつぎ小5年)  
「ぼくの『ルーツ』と『国せき』」

### 優秀賞

久西 陽 (二上小6年) 「差別と偏見」

山本 真生 (小松南小6年)  
「大切な自分イロ」

柿沼 美里 (南奥戸小6年)  
「障害者と過ごす日々」

松村 幸月 (半田小6年)  
「差別～『変』という言葉～」

市原 結輝 (西亀有小6年)  
「自然が教えてくれること」

### 入選

濱中 爽佳 (道上小6年)

石山 結那巴 (新宿小6年)

上竹 蒼 (青戸小6年)

板垣 考倫 (細田小6年)

乾 智治 (末広小6年)

望月 明莉 (原田小6年)

渡邊 佑乃 (飯塚小6年)

中村 志 (清和小6年)

竹崎 衣里 (川端小6年)

大橋 花実 (渋江小6年)

樫山 颯一 (綾南小6年)

千地 花緒里 (上千葉小6年)

※同一賞内の順番はプログラム順

## 中学生の部

### 最優秀賞

ジャッド ジェシカ (水元中3年)  
「ハーフの大冒険」

### 優秀賞

谷本 未来 (新宿中2年)  
「直筆のエネルギー」

海老 統太 (青戸中2年)  
「大好きな海のために」

### 入選

藤井 杏奈 (新小岩中2年)

蜂谷 凜紗 (奥戸中2年)

酒井 美子 (一之台中3年)

馬上 結衣 (双葉中2年)

陳 詩瞳 (四ツ木中2年)

## 中学生の部・最優秀賞

### ハーフの大冒険

水元中学校 3年 ジャッド ジェシカ

ここから九千四百キロメートルほど離れた、羊で有名な島国、ニュージーランド。私は、この夏、日豪ハーフの十五歳として、出身地も年齢も違う日本人の中高生の仲間とともに、半月の短期留学に参加しました。

「ニュージーランドの日常生活を体験しよう。地元の人々と触れ合うことで、生きた国際交流を体験できます。」

この案内を両親と見たときには、飛び込んでみたい気持ち、そして、受験の夏に行っても大丈夫なのかという不安でいっぱい、締切前日まで沢山悩みました。しかし、どっちを選んでも後悔するのなら、留学に参加したいという気持ちの方が強く、進路選択においても必要な経験だと思ったため、行く決意ができました。

たった半月にも関わらず、私には様々な「初体験」がありました。親元を離れての生活、フルイングリッシュの世界、小型飛行機の操縦、ライフル銃の射撃。消極的な私がこんなにも活発に活動できたのは、見知らぬ地で何者にだってなれる、そんな勇気が生まれたからだと考えます。

ホストファミリーとは、すぐに仲を深めら

れましたが、現地の英語を理解するのが難しく、段々と会話できるようになったのを感じています。夕食の場で語り合ったり、週末には、観光名所に連れて行ってくれたりと、新たな家族ができたようでした。

滞在中は、現地の公立高校に通いましたが、日本の学校生活とはまるで異なり、驚きの連続でした。まず、七十五分の授業が四つで一日が終わり、二時間目の後におやつタイムがあったこと。私に付き添ってくれた生徒は、日本語と演劇の授業に多く参加していて、生徒の流暢(りゅうちょう)な日本語、演技力や歌唱力に、私は毎日感動していました。学校初日には、先住民マオリの生徒からの歓迎があり、挨拶として鼻と鼻を合わせるというものがありません。みなさんは、この光景を想像できますか。日本人の思春期には刺激が強く、心臓が飛び出る思いでした。また、同年代の子達と話す時に、学校の美男美女の話だとすごく盛り上がるのは、全世界共通だとわかりました。

日本では、ハーフという存在は珍しいもので、その待遇には慣れていました。実際、ニュージーランドに行ってみると、ハーフである意味もなく、ただ普通の留学生として扱われ、新鮮な気持ちになったのを感じています。また、日本語の授業で、「日本とオーストラリアのハーフです。」と自己紹介をした際に、現地の先生から、「ここでは、ハーフという差別用語が禁止されたから、ミック

スのことをハーフと日本で呼ぶのはとても興味深いわ。」と言われました。私が通った高校は、先住民、アジア人、黒人、白人まで、様々な地域からの生徒が集まっており、何人だって関係ないというスタンスがありました。また、人種以外でも、障がい者や性的少数者を受け入れる心も広く、実際に、私の友達のグループには、車いす利用者や、女子でも本人の意志で「彼」と呼ばれている子もいました。

ひとりひとりが見た目やルーツ、偏見で良くも悪くも差別されず、普通の人間として評価される、私がニュージーランドに行くと、一番印象に残ったことはそれです。

「将来の社会には、個性や多様性を追求していくことが必要だ。」去年この場で主張したその理想の世界を、肌で実感することができ、嬉しかったです。

私がこの留学に参加して得たものは、人との出会いや交流でした。日本各地から集結した仲間、違う環境で育ってきたホストファミリーや現地の生徒。みんな出会うはずのなかった遠い人ですが、身近に感じ、彼らから学ぶことがたくさんありました。このご縁を大切にしていこう、これこそが、多様性を認め合う社会において必要なピースなのではないかと気付かされました。そして、ハーフではなく、わたし個人のジャッドジェシカとして、生きていくことが楽しみになった、「ハーフ」改め「わたし」の大冒険でした。

年頭所感



教育長  
小花 高子

明けましておめでとうござい  
ます。皆様におかれましては、お健やか  
に新しい年をお迎えのことと存じま  
す。

本年が、園児、児童、生徒、保護者の  
皆様、区民の皆様にとりまして、充実  
した良き一年になりますよう、また、  
世界が平和で、災害のない年となり  
ますことを、心から願っております。

今年も教育委員会と学校は、連携・  
協働して子どもたちの教育の充実に  
向けて、全力で取り組んでまいりま  
す。

子どもたちには、大きな将来があ  
ります。一人一人、それぞれがそれぞ  
れの望む花を咲かせてほしいと思っ  
ます。大きく美しい花を咲かせる人  
もいるでしょう。人知れず、大地に根  
を張って凛とした花を咲かせる人も  
いるでしょう。どちらの花の存在も、  
かけがえのない尊いものです。子ども  
たちが将来、自分の一生をかけて自分  
の望む花を咲かせることができるよ  
う、そのための土台となる根を深く  
広く強く張ることを意識した教育を

進めてまいりたいと考えております。

そのための一つが、学力の向上で

す。私は、学力向上に最も必要なこ

とは、学びに向かう意欲であると思

じております。子どもたちには、今の

学びと将来の自分とのつながりを感じ

ながら、今の学びを大切にする気

持ちを持ってもらいたいと思ひます。

学校では、子どもの意欲を育てるた

め、キャリア教育を進めるとともに、

子どもたちの自己肯定感、自己有用

感を育てています。また、一人一人が、

分かった、できた喜びを感じられる

よう、個別最適化した学びに向けて、

様々な工夫もしています。どうか、各

ご家庭においても、子どもたちの将来

に大いに期待し、励ましていただきた

いと思ひます。

また、誰もが充実した生涯を送る

ためには、美術や音楽などの芸術やス

ポーツと親しむことも大変重要です。

子どもから高齢の皆様までを対象と

した生涯学習、生涯スポーツの様々な

事業を開催しております。何を始める

にも遅いということはありません。多

くの区民の皆様に参加していただけ

ることを期待しております。

本年もよろしくお願ひ申し上げま

す。

教育総務課 ☎03(5)654(8)449



教育委員会の動き(令和6年9月~12月)

教育委員会の会議を9回開催しました。

【提出議案】

21件(うち可決された議案21件)

主な可決議案

- 教育委員会の権限に属する事務の管理・執行状況の点検及び評価
- 葛飾区立図書館館則の一部を改正する規則
- 学校職員服務取扱規程の一部改正について

【報告事項】45件

主な報告事項

- 柴又地域における学校改築の方向性について
- 令和6年度全国学力・学習状況調査の実施結果について
- 令和6年度子ども区議会の実施について

教育総務課 ☎03-5654-8449

詳しくは区HPをご覧ください  
(会議録もご覧になれます)。



教育長と教育委員会委員をご紹介します



上原有美江氏の任期満了に伴い、令和6年12月24日付けで、久保洋子氏が、教育委員会委員に就任しました。任期は令和10年12月23日までです。

上段左から：壺内 明委員、谷部 憲子委員、田中 健委員  
下段左から：井口 信二委員(教育長職務代理)、小花 高子教育長、久保 洋子委員

教育総務課 ☎03-5654-8449

一人で悩まないで、相談してね

かつしかいじめほっとライン

— いじめ電話相談 — ☎03-5654-6837  
月~金曜日(祝日・年末年始を除く) / 午前9時~午後5時

夜間・休日の相談はこちら

教育相談一般・東京都いじめ相談ホットライン  
☎0120-53-8288 (24時間対応)

メールでも相談できます

メールによるいじめ・不登校等教育なんでも相談  
※各学校に相談することもできます。 教育指導課



## 小学校連合陸上競技大会



令和6年10月21日・22日に奥戸総合スポーツセンター陸上競技場で、区立小学校及び保田しおさい学校の6年生が参加し、実施しました。

男女100m、男女50mハードル、男女走り幅跳び、男女4×100mリレーの8種目において、児童一人一人が自己ベスト記録を目指して頑張りました。

教育指導課 ☎03-5654-8471



## 中学校連合陸上競技大会



令和6年10月8日に奥戸総合スポーツセンター陸上競技場で、区立中学生727人が参加し、実施しました。

■ 総合優勝…立石中学校 ■ 男子優勝…立石中学校

■ 女子優勝…金町中学校

### 大会新記録(敬称略)

- 女子3年100mハードル 内山 ソニア(高砂中) 15秒04
- 男子1・2年走高跳 大澤 海斗(水元中) 1m75(タイ記録)
- 男子1年1500m 安達 飛和(双葉中) 4分30秒33
- 女子1・2年走幅跳 庄司 七萌(亀有中) 4m98

教育指導課 ☎03-5654-8471



## 令和6年度 感謝状を贈呈しました

区立小学校・中学校の運営、教育活動に積極的な支援を行い、その功労が顕著である団体及び個人と、放課後子ども事業功労者に対し、令和6年10月8日、感謝状を贈呈しました。

贈呈された方は次のとおりです(敬称略)。



### 学校支援団体

#### 【学校教育支援活動】

- 図書ボランティア かみちば風の会(上千葉小学校)
- 道上小学校図書ボランティア
- 青戸小学校図書ボランティア
- 東水元小学校図書ボランティア
- 小松中学校学校地域応援団

#### 【学校環境整備活動】

- 花菖蒲を育てる会(堀切小学校)
- 立石中学校学校地域応援団

#### 【学校安全支援活動】

- 上平井小学校見守りボランティア
- 東綾瀬小学校あいさつ応援団

### 学校支援個人(氏名(学校名))

#### 【学校教育支援活動】

- 高瀬 恭子(葛飾小学校)

#### 【学校環境整備活動】

- 小野 勝美(水元中学校)

#### 【学校安全支援活動】

- 鈴木 高雄(渋江小学校)
- 荒井 秀夫(高砂小学校)
- 青木 徹二(末広小学校)

### 放課後子ども事業功労者(氏名(学校名))

- 高橋 勉(東金町小学校)

地域教育課 ☎03-5654-8589

「かつしかのきょういく」は年3回発行です。皆様でご覧ください。

この広報誌は、印刷用の紙にリサイクルできます。